

# 大鏡『道長の豪胆（肝だめし）』定期テスト対策問題 | 敬語・現代語訳・内容の頻出設問と解答

組 番 氏名

/100点

## 本文

花山院の御時に、五月下つ闇に、五月雨も過ぎて、いとおどろおどろしくかきたれ雨の降る夜、帝、さうぎうしとや思しめしけむ〔①〕、殿上に出でさせおはしまして〔②〕、遊びおはしましけるに、人々、物語申しなどし給うて、昔恐ろしかりけることどもなどに申しなり給へるに、「今宵こそいとむつかしげなる夜なめれ。かく人がちなるだに、気色おぼゆ。まして、もの離れたる所などいかならむ。さあらむ所に一人往なむや〔③〕。」と仰せられけるに、「えまからじ〔④〕。」とのみ申し給ひけるを、入道殿は、「いづくなりともまかりなむ。」と申し給ひければ〔⑤〕、さるところおはします帝にて、「いと興あることなり。さらば行け。道隆は豊楽院、道兼は仁寿殿の塗籠、道長は大極殿へ行け。」と仰せられければ、

〔中略〕また、承らせ給へる殿ばらは、御気色変はりて、益なし〔⑥〕と思したるに、入道殿は、つゆさる御気色もなく、「私の従者をば具し候はじ。この陣の吉上まれ、滝口まれ、一人を、『昭慶門まで送れ。』と仰せ言賜べ。それより内には一人入り侍らむ。」と申し給へば、「証なきこと〔⑦〕。」と仰せらるるに、「げに。」とて、御手箱に置かせ給へる小刀申して立ち給ひぬ。〔中略〕「子四つ。」と奏して、かく仰せられ議するほどに、丑〔⑧〕にもなりにけむ。

中関白殿、陣まで念じて〔⑨〕おはしましたるに、宴の松原のほどに、そのものともなき声どもの聞こゆるに、術なくて帰り給ふ。粟田殿は、露台の外まで、わななくわななく〔⑩〕おはしたるに、仁寿殿の東面の砌のほどに、軒と等しき人のあるやうに見え給ひければ、ものもおぼえて、「身の候はばこそ、仰せ言も承らめ〔⑪〕。」とて、おのおの立ち帰り参り給へれば、御扇をたたきて笑はせ給ふ〔⑫〕に、

入道殿は、いと久しく見えさせ給はぬ〔⑬〕を、いかがと思し召すほどにぞ、いとさりげなく、ことにもあらずげにて〔⑭〕、参らせ給へる。「いかにいかに。」と問はせ給へば、いとのだやかに、御刀に、削られたるものを取り具して奉らせ給ふに、「こは何ぞ。」と仰せらるれば、「ただにて帰り参りて侍らむは、証候ふまじきにより、高御座の南面の柱のもとを削りて候ふなり。」と、つれなく〔⑮〕申し給ふに、いとあさましく〔⑯〕思し召さる。

〔中略〕なほ疑はしく思し召されければ、つとめて、「蔵人して〔⑰〕、削り屑をつがはしてみよ。」と仰せ言ありければ、持て行きて押しつけて見たうびけるに、つゆ違はざりけり〔⑱〕。

## 設問

設問は全部で28問あります。型ごとにまとめてありますが、番号は通し番号です。解答は記事末尾の「解答・解説を見る」で確認できます。

### 1. 現代語訳

1. 傍線部③「往なむや」を、「や」のはたらきがわかるように現代語訳しなさい。
2. 傍線部④「えまからじ」を現代語訳しなさい。誰の言葉かも答えること。
3. 傍線部⑪「身の候はばこそ、仰せ言も承らめ」を現代語訳しなさい。
4. 傍線部⑭「ことにもあらずげにて」を、直前の「いとさりげなく」とあわせて現代語訳しなさい。
5. 本文中「ただにて帰り参りて侍らむは、証候ふまじきにより、高御座の南面の柱のもとを削りて候ふなり。」を現代語訳しなさい。
6. 傍線部⑱「つゆ違はざりけり」を現代語訳しなさい。何と何とが「違は」なかったのかも明らかにすること。

## 2. 敬語

7. 傍線部①「思しめしけむ」の「思しめす」について、敬語の種類と、誰から誰への敬意かを答えなさい。
8. 傍線部②「出でさせおはしまして」を文法的に説明しなさい。このような敬語表現を何と呼ぶかも答えること。
9. 傍線部⑤「申し給ひければ」には敬語が二つ含まれている。それぞれの種類と、誰から誰への敬意かを答えなさい。
10. 傍線部⑫「笑はせ給ふ」の「せ」を文法的に説明しなさい（使役か尊敬かを明らかにすること）。
11. 傍線部⑬「見えさせ給はぬ」や、後の「参らせ給へる」では、臣下である道長に対して帝と同等の敬語が使われている。これはなぜか、作品の性格にふれて説明しなさい。
12. 会話文中の「私の従者をば具し候はじ」「それより内には一人入り侍らむ」の「候ふ」「侍り」の敬語の種類と、誰への敬意かを答えなさい。

## 3. 文法

13. 本文中「今宵こそいとむつかしげなる夜なめれ」の「なめれ」を文法的に説明しなさい。文末が已然形になっている理由にもふれること。
14. 本文中「かく人がちなるだに、気色おぼゆ」の「だに」の意味・用法を答え、この一文を現代語訳しなさい。
15. 本文中「いづくなりともまかりなむ」の「なむ」を文法的に説明しなさい。
16. 傍線部⑩「こそ……承らめ」の係り結びについて、「め」の文法的説明（もとの助動詞と活用形）を答えなさい。
17. 傍線部⑰「蔵人して」の「して」の用法を文法的に説明しなさい。

## 4. 語句

18. 「五月下つ闇」とはどのような夜か、簡潔に答えなさい。
19. 傍線部⑥「益なし」の意味を答えなさい。
20. 傍線部⑨「念じて」、傍線部⑩「わななくわななく」の意味をそれぞれ答えなさい。

21. 傍線部⑮「つれなく」、傍線部⑯「あさましく」の本文中での意味をそれぞれ答えなさい。

## 5. 内容理解

22. 帝が三兄弟に命じた行き先を、それぞれ答えなさい（道隆・道兼・道長）。

23. 本文中の「中関白殿」「栗田殿」「入道殿」とはそれぞれ誰のことか、答えなさい。

24. 中関白殿と栗田殿がそれぞれ引き返した理由を、本文に即して説明しなさい。

25. 傍線部⑰「証なきこと」と言われた道長は、どのような行動でこれに応えたか。出発前の行動と、帰参後に示したものの二点を答えなさい。

26. 傍線部⑱「丑」とおよそ何時頃か。また直前の「子四つ」とあわせて、この場面が深夜であることを説明しなさい。

## 6. 文学史

27. 『大鏡』の成立時代・ジャンルを答え、この作品がどのような形式で語られるかを簡潔に説明しなさい。

28. 『大鏡』をはじめとする「四鏡」の作品名を、成立順にすべて答えなさい。